

## 評価シート 様式

取組名	「村ぶろ戦略 北山村」～じゃばら・いかだ・飛び地を活かした自立性の高いむらづくり～		
実施団体名	北山村再生推進協議会	対象地域	和歌山県北山村全域
(代表団体名)	和歌山県北山村	推薦団体名	

① 実施 状況	提案書に記載された取組内容について、当初の計画通り実施されているか	② 実施 体制	平成20年度に行われた取組の実施体制について
	<input checked="" type="checkbox"/> 申請時に予定した取組を適切に実施したと判断される。 <input type="checkbox"/> 申請時に予定した取組の一部が未実施となっている。但し、予定した主要な取組は適切に実施したと判断される。 <input type="checkbox"/> 申請時に予定した取組の一部又は全部が未実施となっており、特に主要な取組が実施されていない。		<input checked="" type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り地域の関係者が明確な役割分担の下、各々主体的に実施されたと判断される。 <input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り地域の関係者が明確な役割分担の下、各々主体的に実施されたと判断されるものの、改善の余地が認められる。 <input type="checkbox"/> 実施した取組について、主体的に実施されたと判断できない。
	(備考・特記事項)		(備考・特記事項)
③ 効果	平成20年度に行われた取組の当初目標の達成状況について	④ 継続 展開 の見 込み	平成20年度に行われた取組の継続展開の見込みについて
	<input type="checkbox"/> 当初設定した目標を達成し、実施した取組が予定していた成果をあげたと認められる。 <input checked="" type="checkbox"/> 当初設定した目標の達成には至らないものの、実施した取組が予定していた成果の一部又は全部をあげたと認められる。 <input type="checkbox"/> 実施した取組が当初の目標の達成に至らず、予定していた成果をあげることができなかったと認められる。		<input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り又は発展的に継続展開が予定され、持続的・効果的に取組が進捗すると見込まれる。 <input checked="" type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画とは一部異なるものの、取組方法の改善等により持続的・効果的に取組が進捗すると見込まれる。 <input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り持続的・効果的に取組が進捗するとは見込まれない。
	(備考・特記事項)		(備考・特記事項)

※①において「申請時に予定した取組とは異なる取組が行われた」場合や、③において評価シート作成時点で成果を把握できない場合など、留意事項がある場合に「備考・特記事項」欄に記載する。

## 評価シート 様式

取組名	「村ぶろ戦略 北山村」～じゃばら・いかだ・飛び地を活かした自立性の高いむらづくり～		
実施団体名	北山村再生推進協議会	対象地域	和歌山県北山村全域
(代表団体名)	和歌山県北山村	推薦団体名	

⑤ 総合評価	○ 複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果に関する所見
	○ 先導性・モデル性 自治体が自ら地域ブログポータルサイトを運営し、地域間交流を活性化させ、地域産品を売買する等により自立性のある村づくりを目指した点で先導性・モデル性がある。
	○ 相乗効果・波及効果 「行きにくい」村という特性を逆にとり、約500名の村民に対して、約10倍のブログ登録者を獲得するなど、地域の特性とネットの特性をうまく活かした取組を行っており、連携事業の拡大により、さらなる相乗効果・波及効果が期待できる。
	○ 評価
	<input type="checkbox"/> ①～④及び「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」の全てにおいて評価が高く、「地方の元気再生事業」の趣旨に鑑みて優れた取組であると評価できる。 <input checked="" type="checkbox"/> 「地方の元気再生事業」の趣旨に合致した取組であると評価できる。ただし、①～④及び「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」のいずれかについて改善の余地が認められる。 <input type="checkbox"/> ①～④のうち1以上の項目で評価が低く、「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」においても特筆すべき点が認められず、「地方の元気再生事業」の趣旨に合致した取組であるとは評価できない。
	(評価の考え方及び次年度以降に向けた所見)
	本取組は、自治体が地域ブログポータルサイトを運営し、「行きにくい」中山間地域の交流と経済的自律をネットの特性を活用してより強化する自律性の高い村づくりを目指した先導的な取組である。本年度に行ってきた地域資源の新たな発掘、商品開発、マーケティング、システム構築を実利に結びつけ、経済基盤を構築することなどに留意しつつ、地方の元気再生事業として支援を行うことにより継続的な展開が期待できるものである。
	次年度以降の取組としては、地域ブログの認知度を高め、他の自治体との連携や共同物販システムの確立により、中山間地域間交流の相乗効果の具体的な拡大を図るとともに、商品開発の絞り込みによる「じゃばらブランド」の確立が必要である。 具体的には、①村ぶろの再構築については、全国展開の拡大を図り認知度と交流の拡大による地域産品の販路拡大を実施すべきである。 ②「じゃばら水の製品化」、「じゃばら鶏」の開発については、「じゃばら鶏」の活動は、本年度効用試験に至らず来年度中の商品化・効果測定は困難と考えられることから、既に商品化に成功している「じゃばら水」のモニタリング及び商標の試作等に重点的に取り組むべきである。